

最近の気象状況

3月の天候（気象庁発表）

報道発表日

平成22年4月1日

概要

2010年（平成22年）3月の天候の特徴は以下のとおり。

○北日本から西日本にかけては顕著な多雨で日照時間も少なかった。

北日本から西日本にかけては、低気圧や前線の影響を受けやすかったため、北日本から西日本にかけては顕著な多雨で日照時間も少なかった。月降水量は、東日本太平洋側で3月としての最大値を更新したのをはじめ、諏訪（長野県）、静岡など全国9地点で3月の最大値を更新した。

月間日照時間も、北日本日本海側と東日本日本海側で3月としての最小値を更新、また、福井、鳥取など全国6地点で3月の最小値を更新した。

○沖縄・奄美では降水量がかなり少なかった。

沖縄・奄美では低気圧や前線の影響が小さかったため平年に比べ晴れの日が多く、月降水量はかなり少なかった。

○東・西日本と沖縄・奄美では月平均気温が高かったが、
気温の変動が大きかった。

上旬と中旬は南から暖かい空気が入り気温は平年を上回る日が多く、東日本以西では月平均気温は高かったが、月末は強い寒気が流れ込み全国的に顕著な低温となるなど、気温の変動が大きかった。

1 概況

日本の南で高気圧が平年より強かったため、南から暖かく湿った気流が入りやすく、北日本から西日本にかけては、低気圧や前線の影響を受けやすかった。上旬は本州付近を次々と低気圧が通り天気がぐずついたほか、中旬以降も数日おきに低気圧が本州付近を通過し、平年に比べ曇りや雨または雪の日が多かった。このため、北日本日本海側と東・西日本では月降水量はかなり多く、特に東日本太平洋側では地域の統計を始めた1946年以来、3月としての最大値を

更新した。また、北日本と東日本日本海側、西日本日本海側では月間日照時間
がかなり少なく、北日本日本海側と東日本日本海側では3月としての最小値を
更新した。一方、沖縄・奄美では、低気圧や前線が平年より北を通過することが
多かったため平年に比べ晴れの日が多く、月降水量はかなり少なかった。

月平均気温は、北日本で平年並、東日本以西で高かったが気温の変動が大き
かった。上旬と中旬は、一時的に寒気の影響を受けた上旬の終わりを除き、南
から暖かい空気が入り気温は平年を上回る日が多かった。一方、月末にはこの
時期としては強い寒気が流れ込んだ影響で全国的に顕著な低温となった。

2 気温、降水量、日照時間等の気候統計値

(1) 平均気温

月平均気温は、東日本から沖縄・奄美にかけて高かった。北日本では平年並だ
った。なお全国的に気温の変動が大きかった。

(2) 降水量

月降水量は、北日本日本海側、東日本および西日本でかなり多く、北日本太
平洋側で多かった。これらの地域では平年の170%を上回ったところがあり、諏
訪(長野県)、静岡、尾鷲(三重県)など9地点で3月の月降水量の最大値を更新
した。一方、沖縄・奄美ではかなり少なく、名護(沖縄県)では、3月の月降水量
の最小値を更新した。

(3) 日照時間

月間日照時間は、北日本および東日本から西日本にかけての日本海側でかな
り少なく、東日本から西日本にかけての太平洋側で少なかった。特に北日本か
ら西日本にかけての日本海側では、平年の80%を下回ったところが多く、輪島(石
川県)、福井、鳥取など6地点で3月の月間日照時間の最小値を更新した。一方、
沖縄・奄美では多かった。

(4) 降雪・積雪

降雪の深さ月合計は東日本日本海側で少なく、北日本日本海側と西日本日本
海側では平年並だった。北日本太平洋側では多かった。なお、留萌、旭川(以上、
北海道)では、3月の降雪の深さ月合計の最大値を更新した。月最深積雪は、北
日本から西日本にかけての日本海側では平年を下回ったところが多かった。一
方、北日本太平洋側では平年を上回ったところが多く、八戸(青森県)では、3
月の月最深積雪の最大値を更新した。

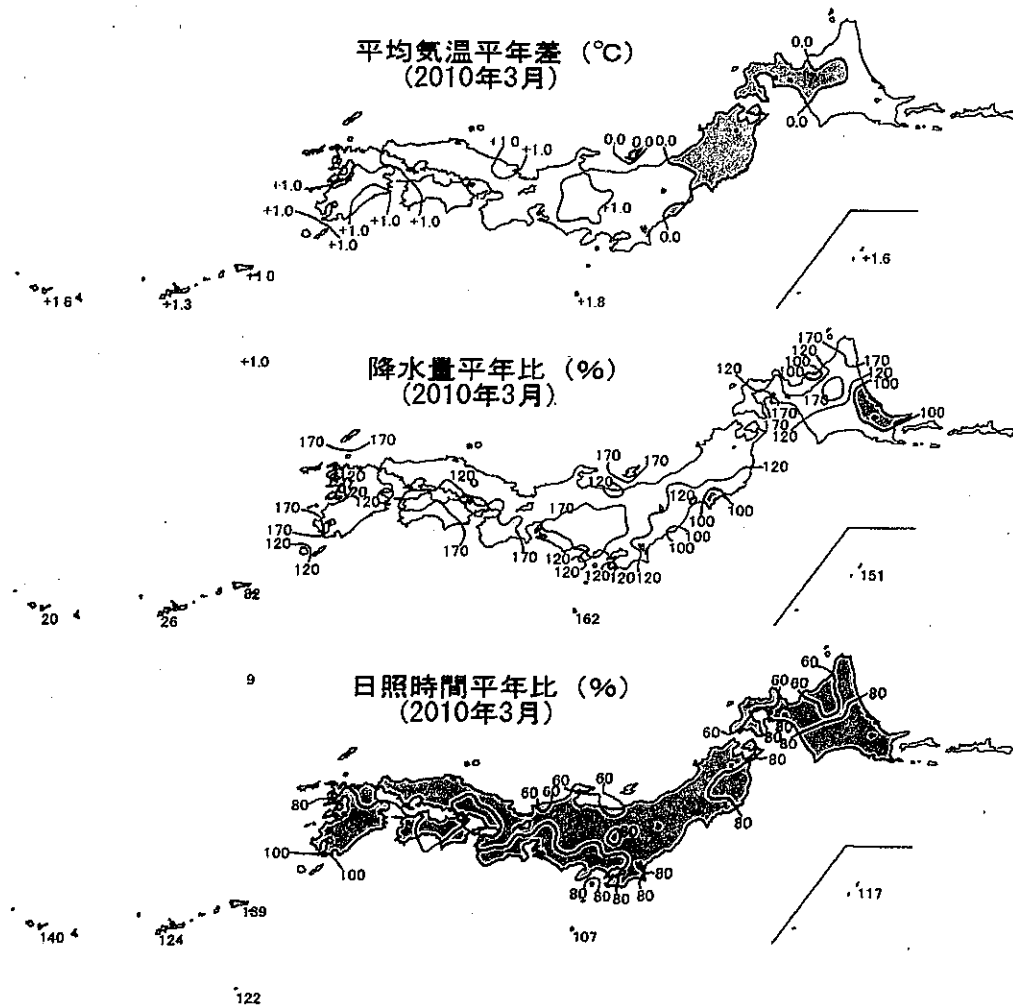
地域平均平年差（比）と階級（2010年3月）

	気温 平年差 ℃（階級）	降水量 平年比 ％（階級）	日照時間 平年比 ％（階級）	降雪量 平年比 ％（階級）		気温 平年差 ℃（階級）	降水量 平年比 ％（階級）	日照時間 平年比 ％（階級）	降雪量 平年比 ％（階級）
北日本	0.0 (0)	125 (+) 日 136 (+)* 太 117 (+)	75 (-)* 日 65 (-)* 太 83 (-)*	111 (0) 日 95 (0) 太 125 (+)	北海道	0.0 (0)	128 (+) 日 133 (+) 才 122 (+) 太 120 (+)	75 (-)* 日 61 (-)* 才 84 (-)* 太 87 (-)*	113 (+) 日 111 (+) 才 95 (0) 太 125 (+)
東日本	0.7 (+)	157 (+)* 日 149 (+)* 太 159 (+)*	77 (-)* 日 61 (-)* 太 81 (-)	76 (0) 日 16 (-) 太 105 (+)	東北	-0.1 (0)	122 (+) 日 134 (+)* 太 113 (0)	74 (-)* 日 68 (-)* 太 79 (-)*	107 (0) 日 68 (-) 太 138 (+)
西日本	0.8 (+)	154 (+)* 日 146 (+)* 太 162 (+)*	81 (-) 日 76 (-)* 太 85 (-)	43 (0) 日 61 (0) 太 0 (-)*	関東甲信	0.7 (+)	158 (+)* 日 140 (+)* 太 161 (+)*	78 (-)* 日 61 (-)* 太 85 (-)	122 (+) 日 16 (-) 太 14 (-)
沖縄・奄美	1.2 (+)	53 (-)*	131 (+)		近畿	0.8 (+)	168 (+)* 日 137 (+) 太 170 (+)*	78 (-) 日 70 (-)* 太 81 (-)	2 (-) 日 3 (-) 太 0 (-)
					中国	0.7 (+)	151 (+)* 松 154 (+)* 陽 147 (+)	74 (-)* 松 68 (-)* 陽 81 (-)*	1 (-) 松 2 (-) 陽 0 (-)*
					四国	0.9 (+)	166 (+)*	80 (-)	
					九州北部	0.9 (+)	145 (+)	80 (-)	180 (+)
					九州南部	1.0 (+)	136 (+)	103 (0)	
					奄美	1.0 (+)	150 (+)	96 (0)	
					本	0.9 (+)	70 (-)	133 (+)	
					沖縄	1.3 (+)	14 (-)*	134 (+)	

階級表示 (-)低い(少ない) (0)平年並 (+)高い(多い)
(*)はかなり低い(少ない)、かなり高い(多い)を表す

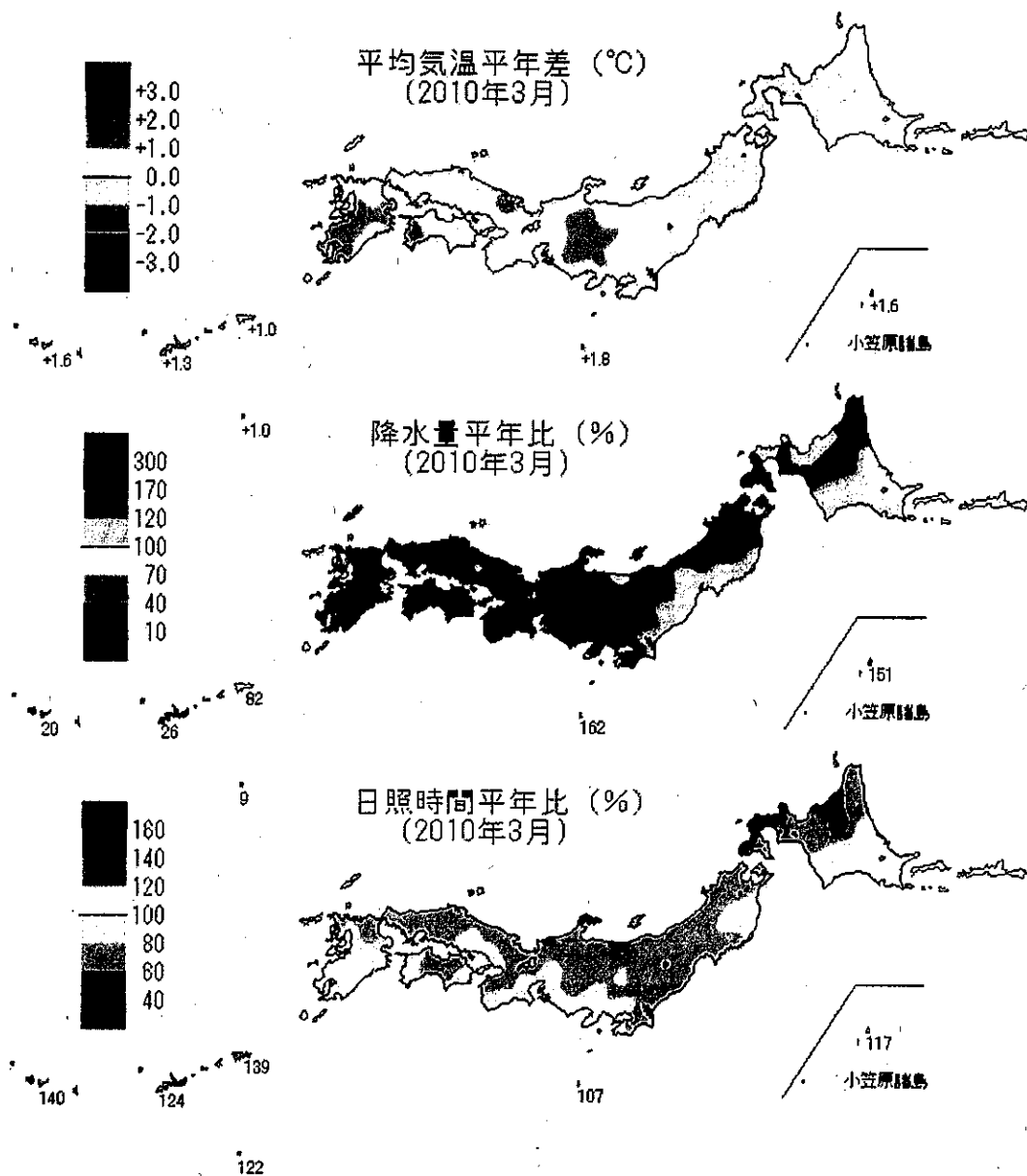
地域表示 日:日本海側 松:山陰 本:本州(九州南部)
才:才ノ木側 陽:山陽 奄:奄美
太:太平洋側

平年差（比）図（2010年3月）（等値線図）



注）陰影の部分は、平年値より低い（少ない）地域を示す。

平年差（比）図（2010年3月）



3 旬別の天候経過

上旬：短い周期で次々と低気圧が本州付近を通過し、全国的に曇りや雨の日が多かった。南から暖かい空気に覆われ気温は平年を上回る日が多かったが、期間の終わりには寒気の影響を受け気温は平年を下回った。

旬平均気温は、北日本は平年並、東・西日本と沖縄・奄美はかなり高かった。

旬降水量は、北日本日本海側と沖縄・奄美で平年並のほかはかなり多かった。

旬間日照時間は、沖縄・奄美で平年並のほかはかなり少なかった。

中旬：数日の周期で低気圧が日本海と本州付近を通過し、天気は周期的に変わった。寒気の影響を受けた期間のはじめと17～18日頃は気温は平年を下回ったが、そのほかは平年を上回った日が多く、低気圧に向かって暖かい空気が流れ込むなどして大幅に上回った日もあった。

旬平均気温は、北日本と沖縄・奄美では高く、東・西日本ではかなり高かった。

旬降水量は、北日本日本海側ではかなり多く、東日本日本海側では多かった。

一方、西日本太平洋側と沖縄・奄美では少なく、そのほかは平年並だった。

旬間日照時間は、北日本日本海側ではかなり少なかった。一方、東・西日本太平洋側と沖縄・奄美では多く、そのほかは平年並だった。

下旬：21日は北日本で低気圧が発達し、北海道を中心に記録的な暴風となった。また各地で黄砂を観測し交通機関に影響が出た。その後は一旦、高気圧に覆われ全国的に晴れたが、23から25日にかけては前線を伴った低気圧が本州の南岸を進んだ影響で、東・西日本を中心に曇りや雨となった。期間後半はこの時期としては強い寒気が流れ込んだため、全国的に顕著な低温となった。

旬平均気温は、東日本はかなり低く、北・西日本では低かった。沖縄・奄美では平年並だった。

旬降水量は、東日本と北・西日本日本海側で多かった。北・西日本太平洋側では平年並、沖縄・奄美では少なかった。

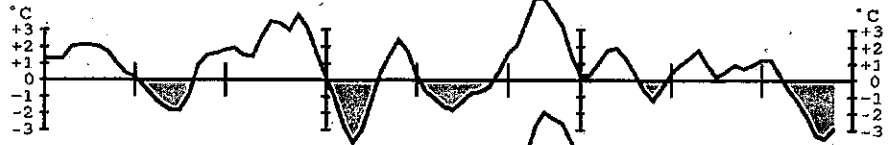
旬間日照時間は、北・東日本日本海側ではかなり少なく、北・東日本太平洋側では少なかった。西日本では平年並、沖縄・奄美では多かった。

2010年

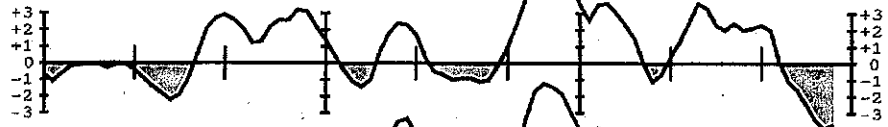
地域平均気温平年差の経過（5日移動平均）

1月 2月 3月
上旬 中旬 下旬 上旬 中旬 下旬 上旬 中旬 下旬

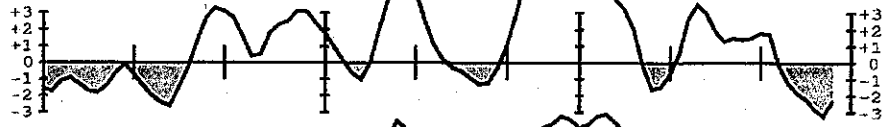
北日本
NORTHERN JAPAN



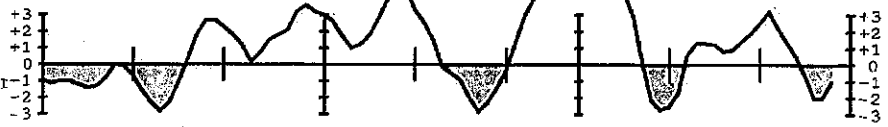
東日本
EASTERN JAPAN



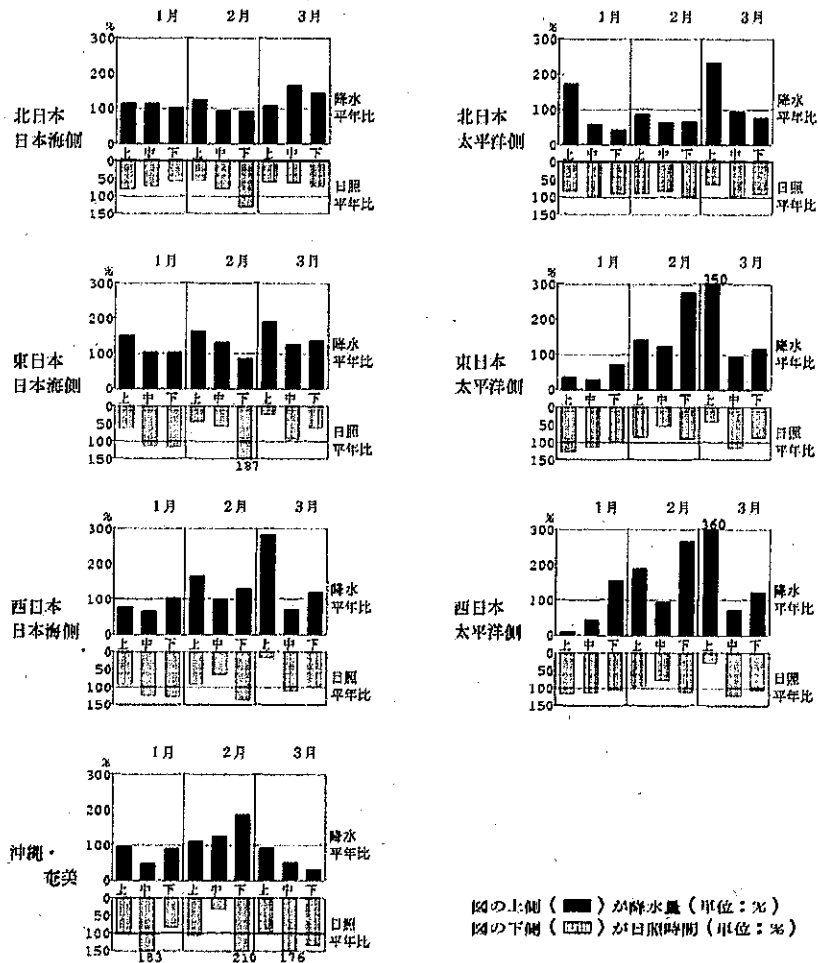
西日本
WESTERN JAPAN



沖縄・奄美
OKINAWA AND AMAMI

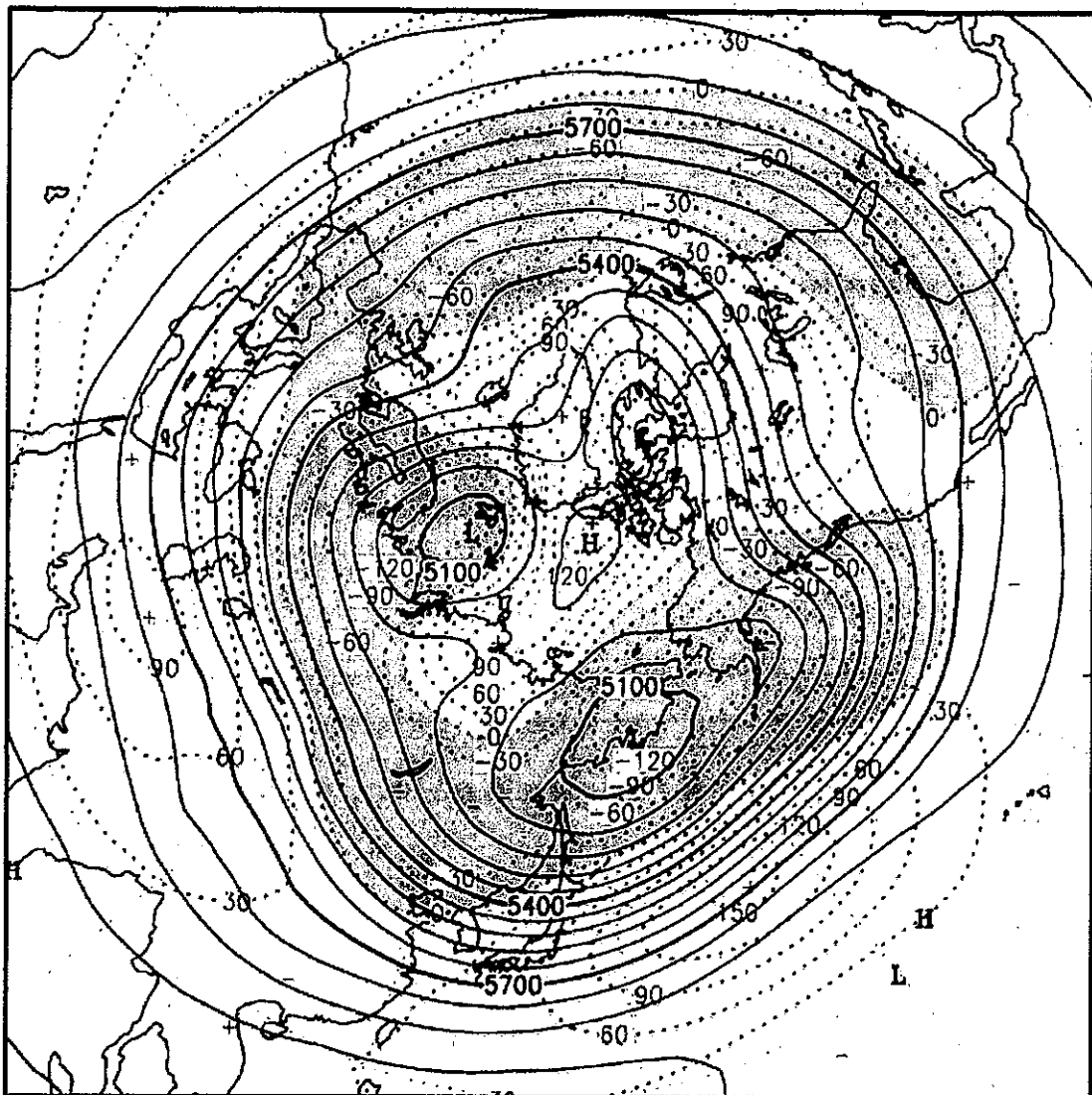


旬降水量および旬間日照時間の地域平均平年比の時系列



4 大気の流れの特徴

500hPa 天気図: 中国東北区からオホーツク海、アラスカにかけては負偏差となった。日本付近は、北日本では偏差がゼロに近かったが、東日本から沖縄・奄美では日本の南東海上を中心とする東西に広がる正偏差に覆われた。このため前線帯が北に押し上げられ、低気圧や前線は平年に比べ北よりの本州付近や日本海を通過することが多かった。この影響で、北日本から西日本にかけては平年に比べ曇りや雨または雪の日が多かった一方、沖縄・奄美では低気圧や前線の影響が平年に比べて弱く晴れた日が多かった。また、南から暖かい空気が流れ込みやすかった東日本から沖縄・奄美にかけては月平均気温が高くなった。



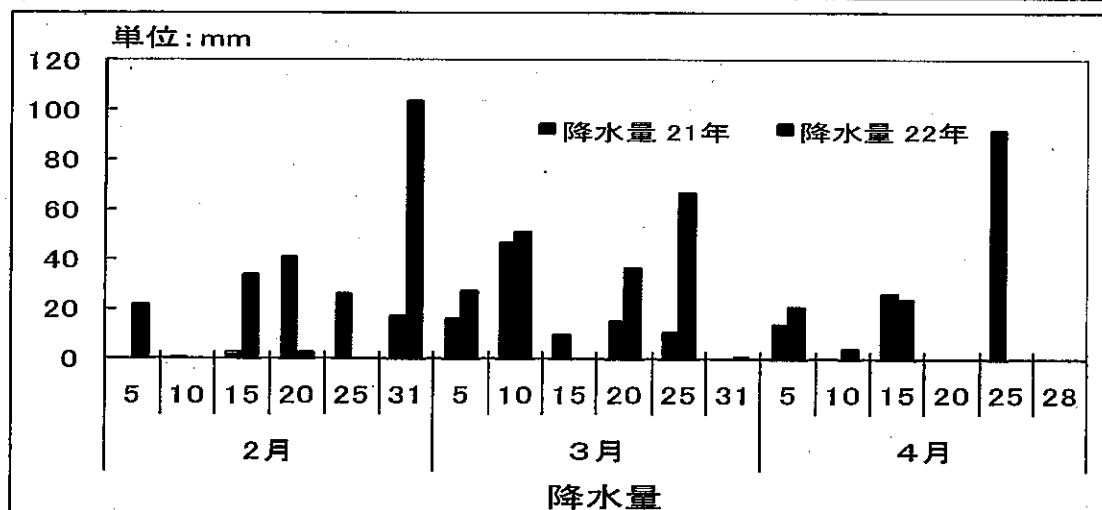
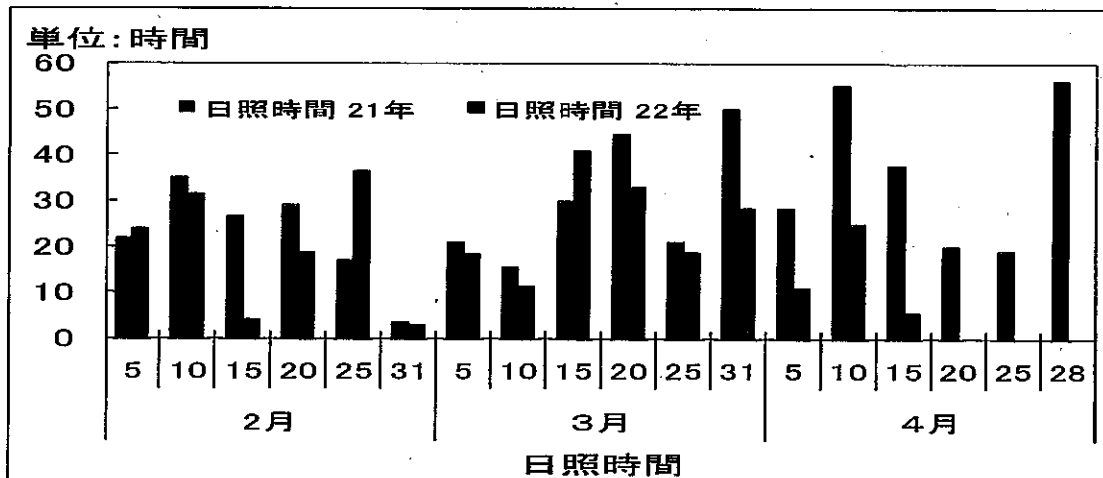
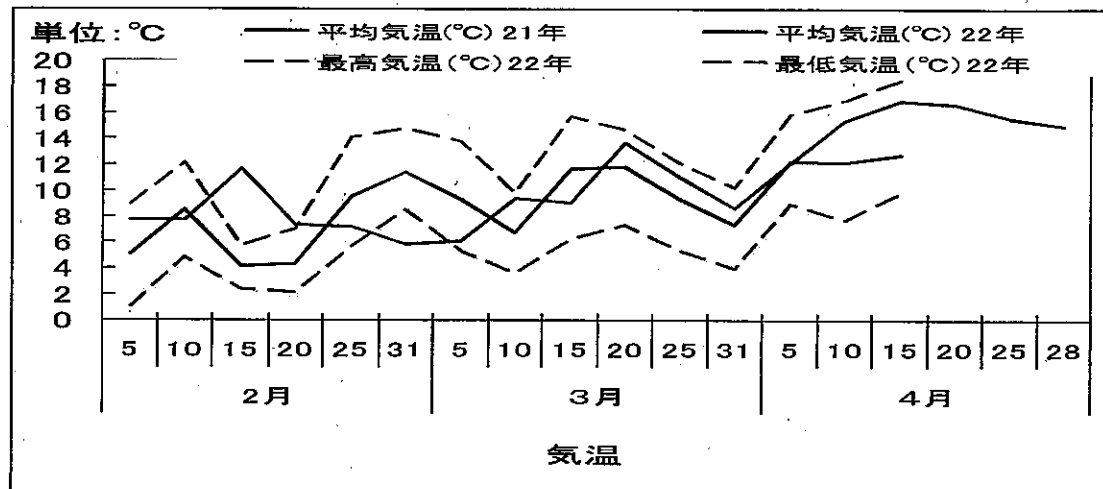
2010年3月の500hPa高度・偏差（等値線間隔 実況（実線）60m、偏差（破線）30m）
陰影域は負偏差

出典：気象庁HPより抜粋

春野菜の主産地（神奈川県、千葉県、茨城県、愛知県、兵庫県、佐賀県）
及び消費地（東京都）の気象状況（2月～4月）

1 神奈川（三浦）…キャベツ

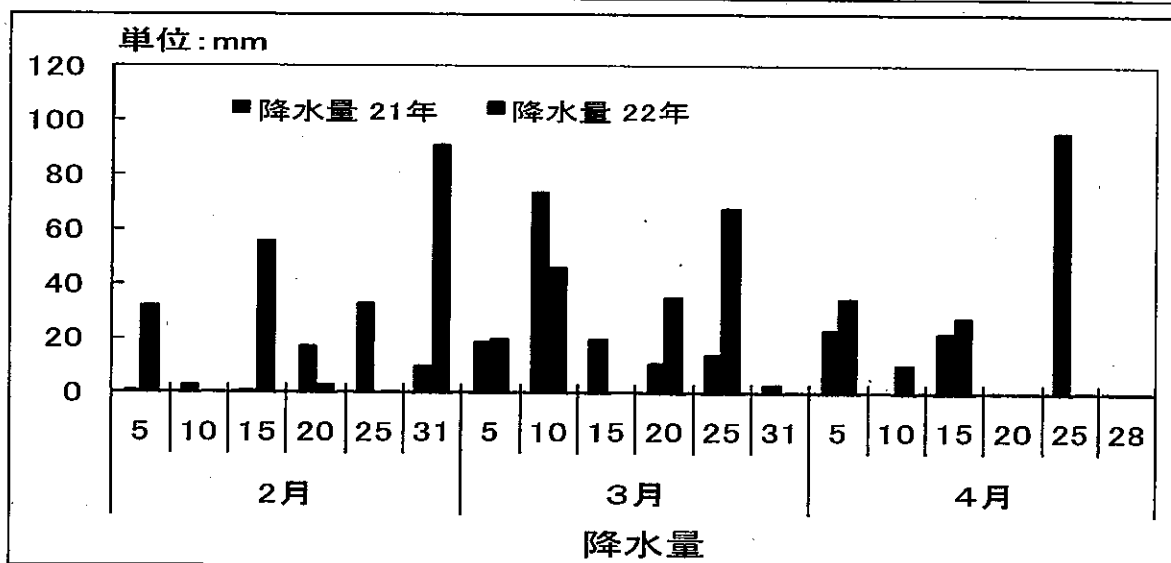
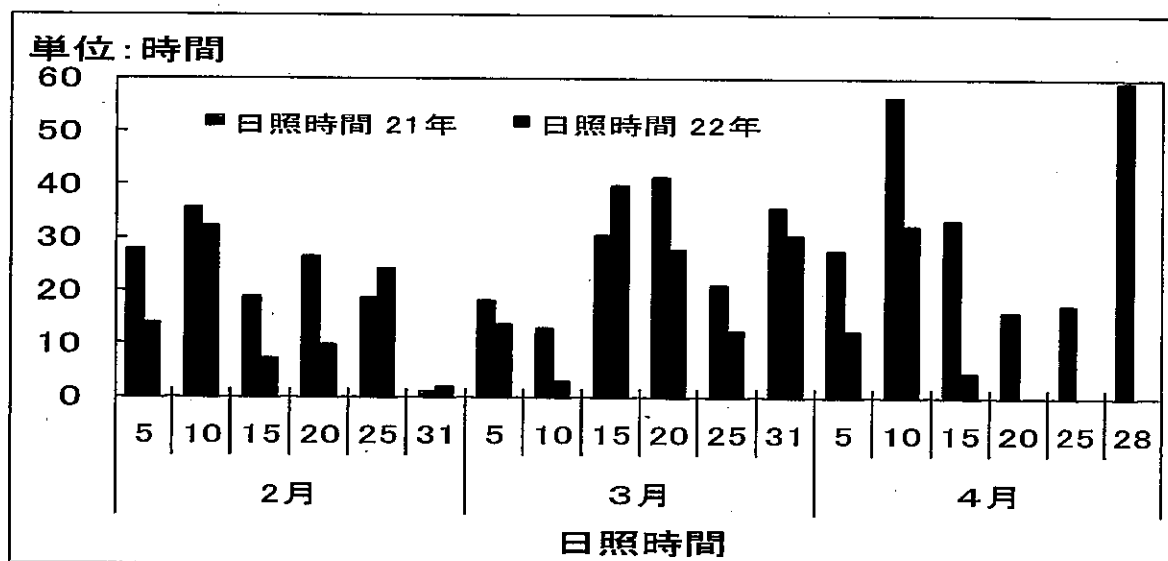
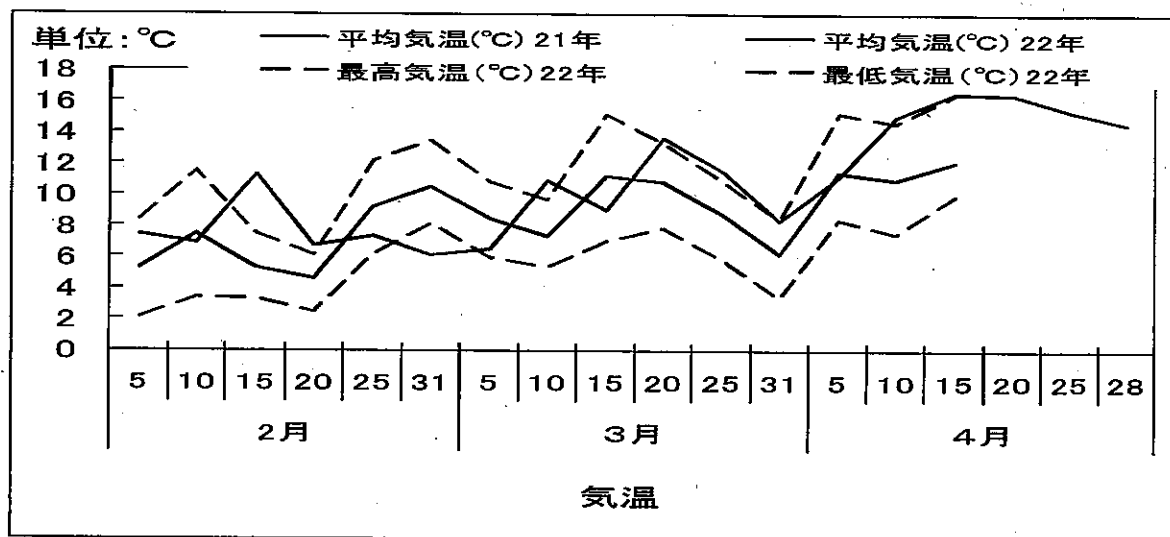
- 気温（2～4月上旬）は、対前年同期比 93％であった。
- 日照時間（2～4月上旬）は、対前年同期比 76％であった。
- 降水量（2～4月上旬）は、対前年同期比 185％であった。



資料：農畜産業振興機構「ベジ探」、気象庁「AMeDAS」

2 千葉県（銚子） …だいこん、ねぎ

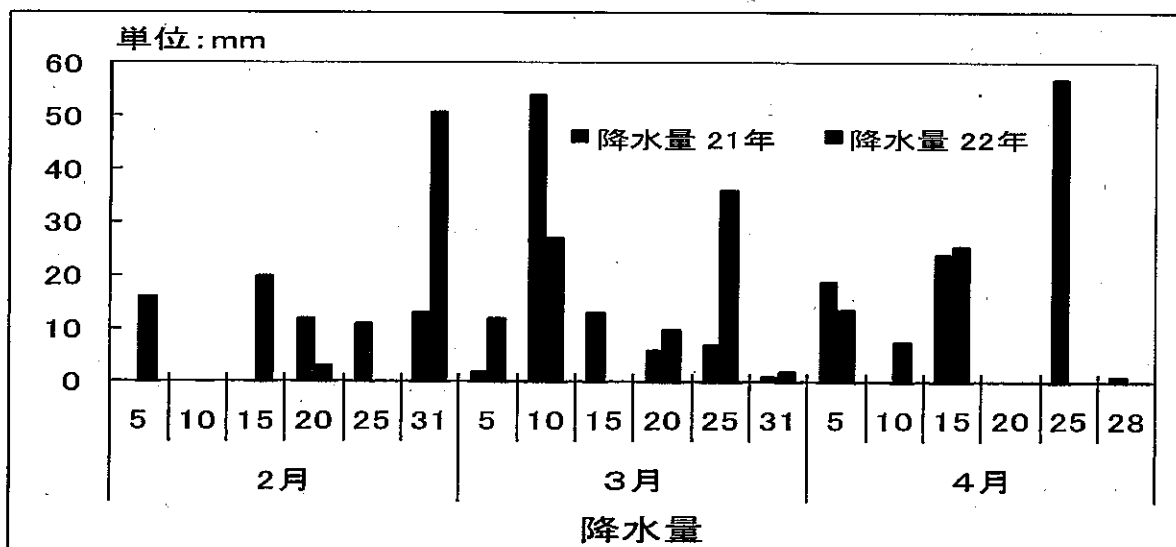
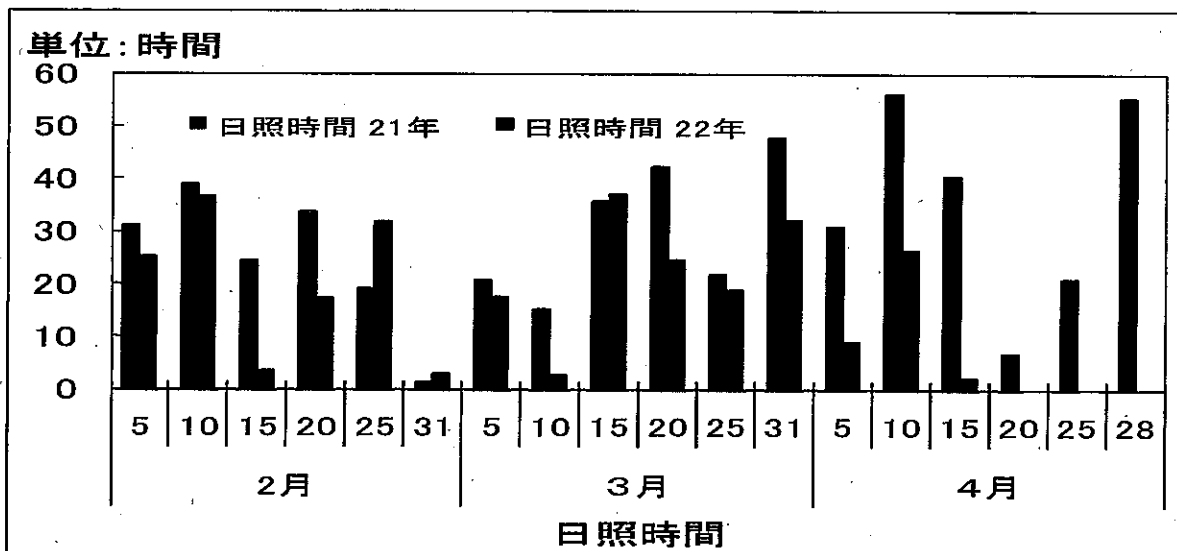
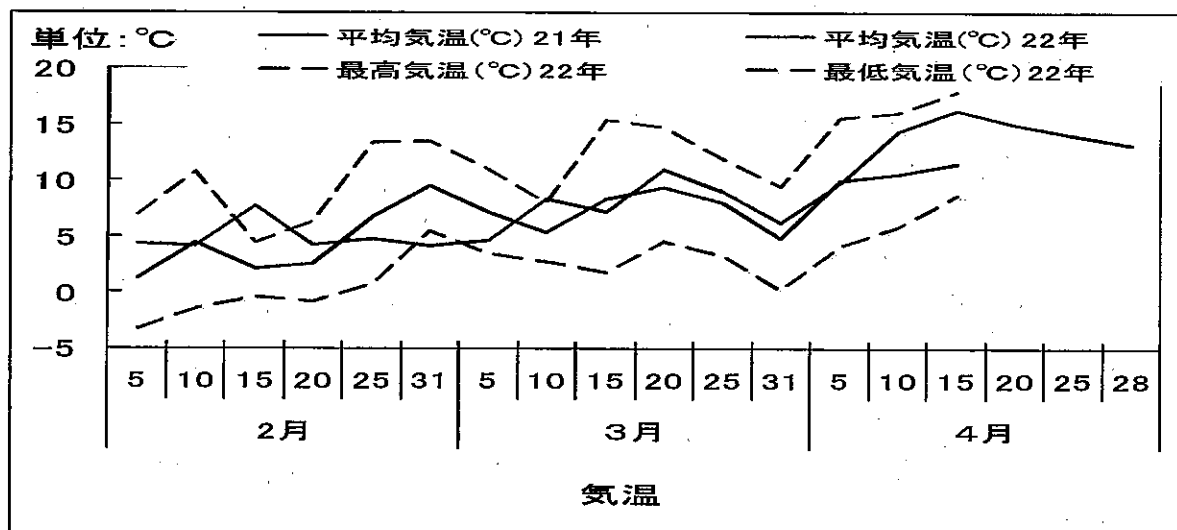
- 気温（2～4月上旬）は、対前年同期比 89%であった。
- 日照時間（2～4月上旬）は、対前年同期比 71%であった。
- 降水量（2～4月上旬）は、対前年同期比 172%であった。



資料: 農畜産業振興機構「ベジ探」、気象庁「AMeDAS」

3 茨城県（下妻） …レタス、はくさい、ピーマン

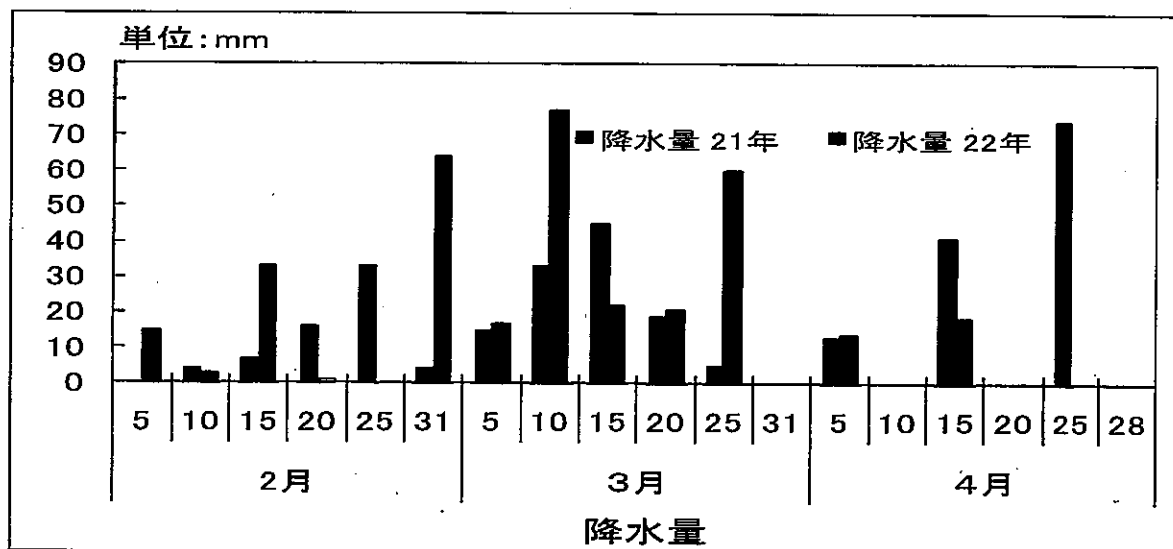
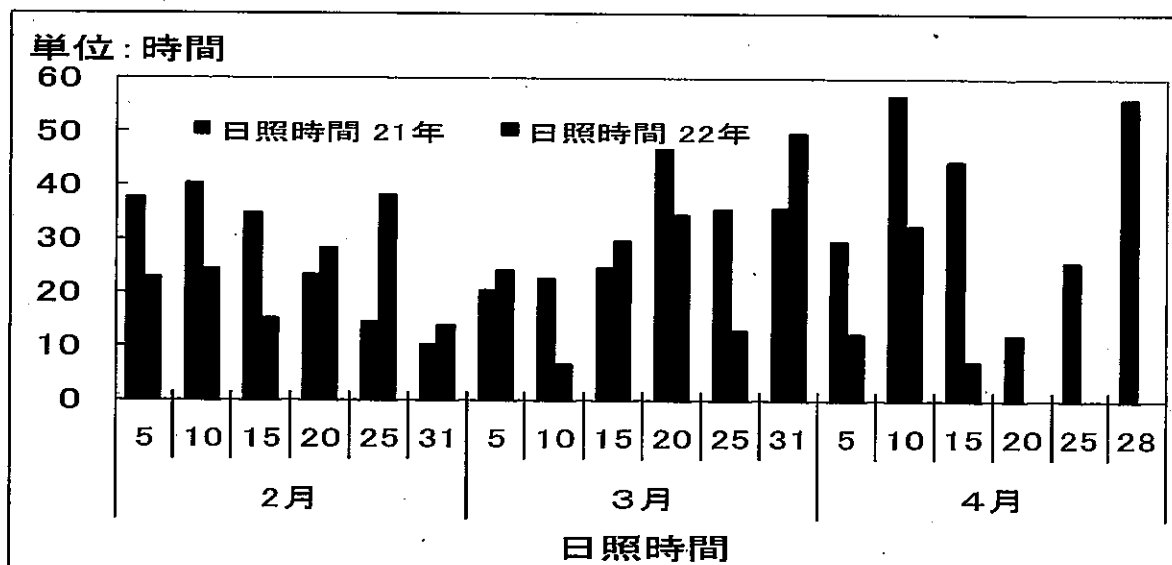
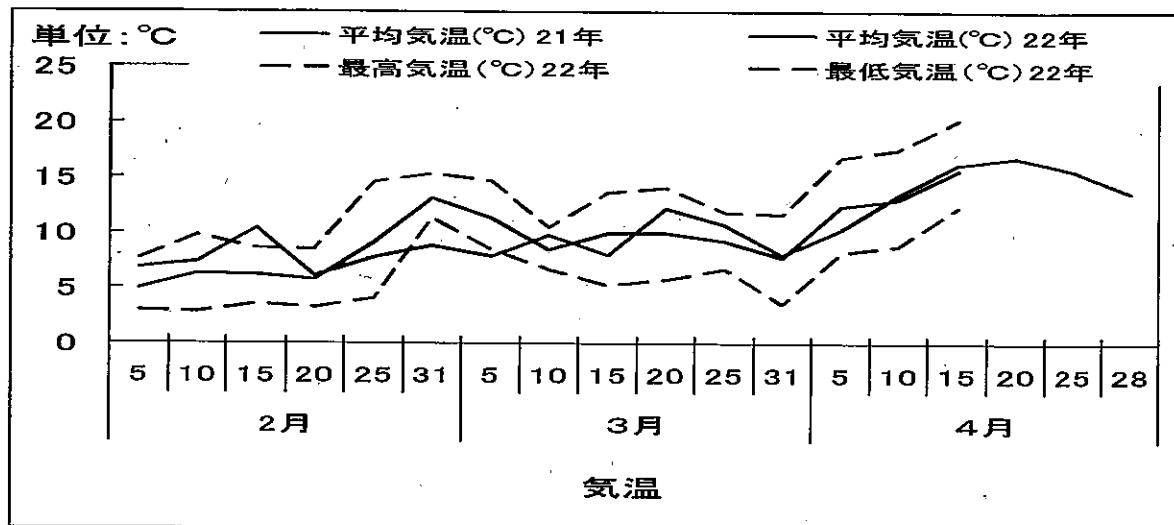
- 気温（2～4月上旬）は、対前年同期比 84％であった。
- 日照時間（2～4月上旬）は、対前年同期比 54％であった。
- 降水量（2～4月上旬）は、対前年同期比 131％であった。



資料：農畜産業振興機構「ベジ探」、気象庁「AMeDAS」

4 愛知県（伊良湖） …キャベツ、トマト

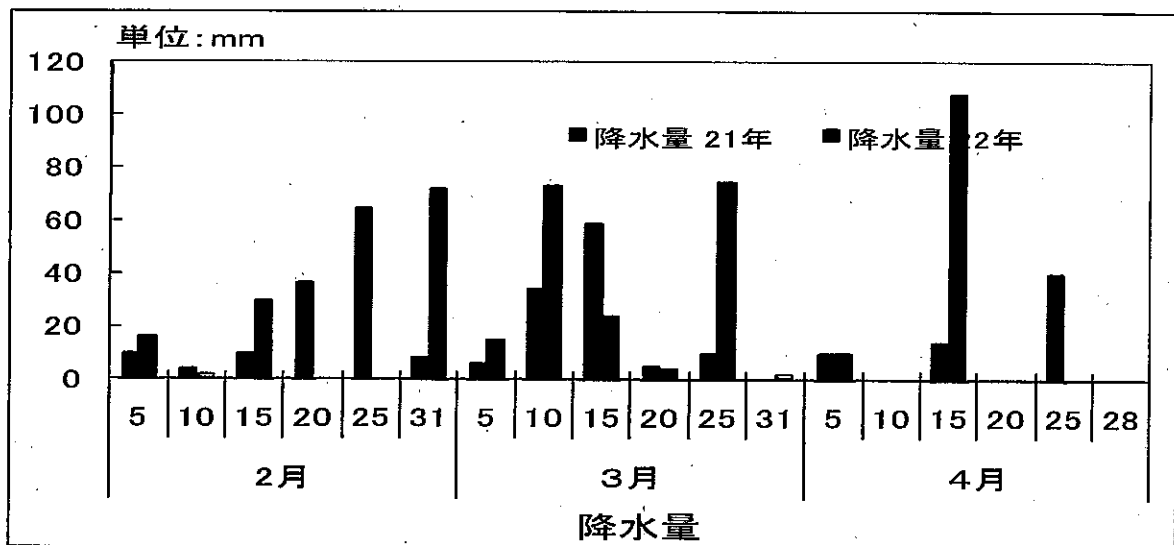
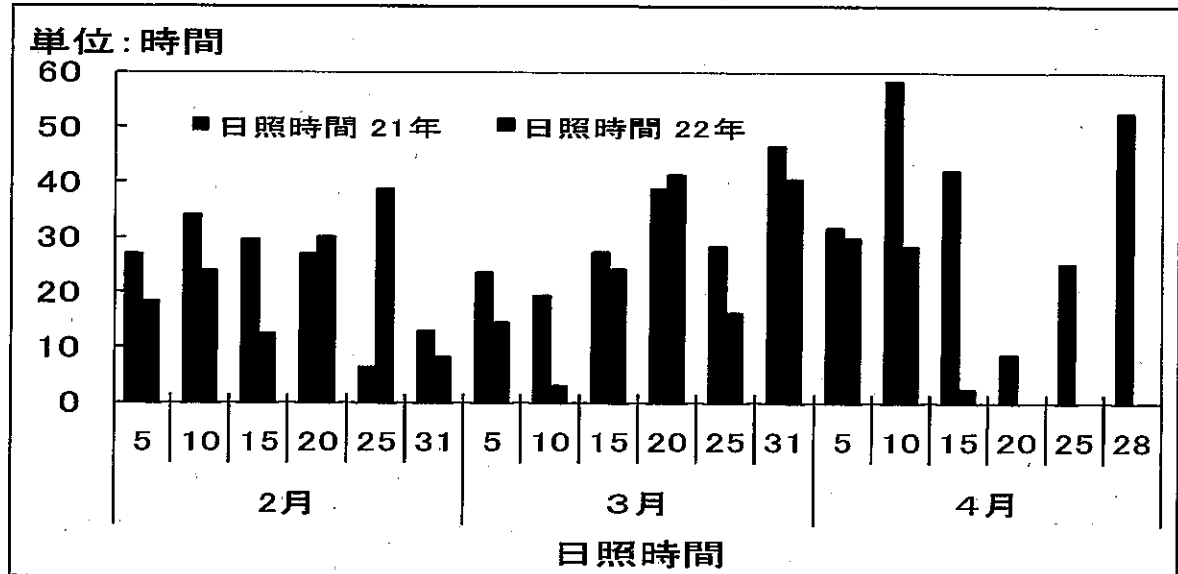
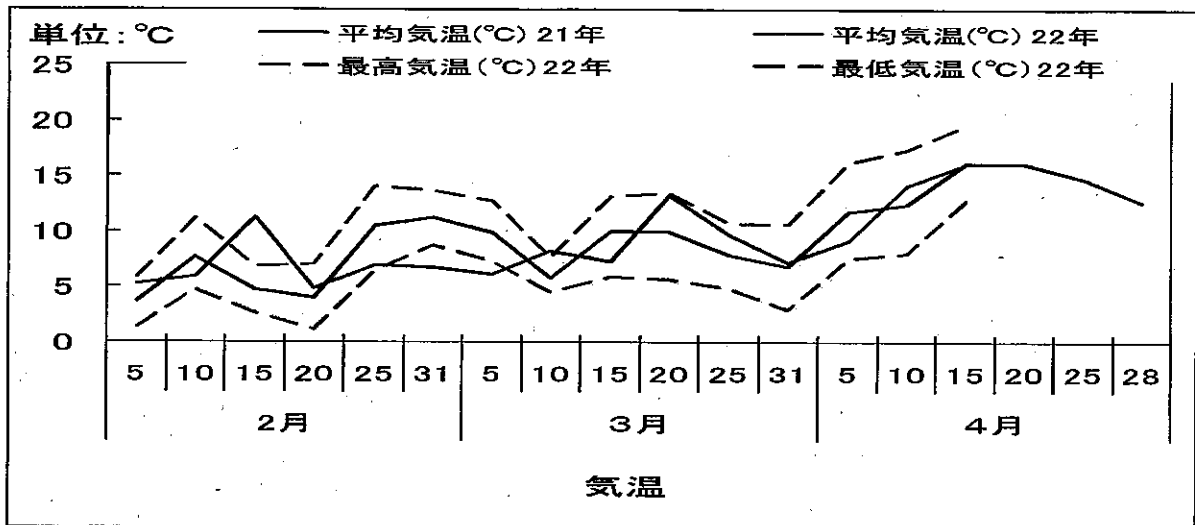
- 気温（2～4月上旬）は、対前年同期比 100%であった。
- 日照時間（2～4月上旬）は、対前年同期比 80%であった。
- 降水量（2～4月上旬）は、対前年同期比 168%であった。



資料: 農畜産業振興機構「ベジ探」、気象庁「AMeDAS」

5 兵庫県（洲本） …レタス

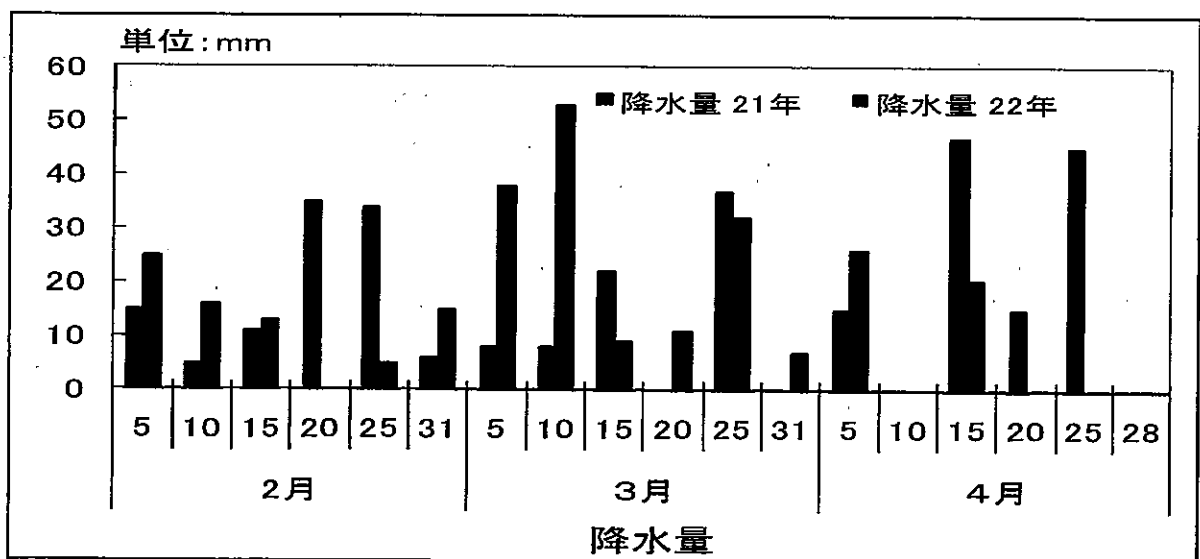
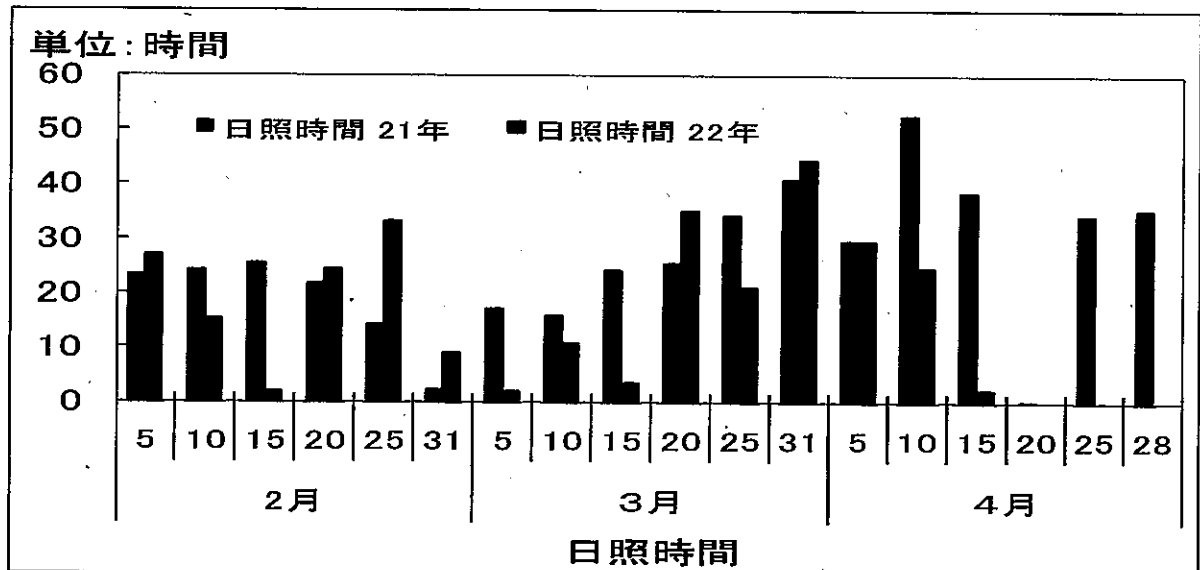
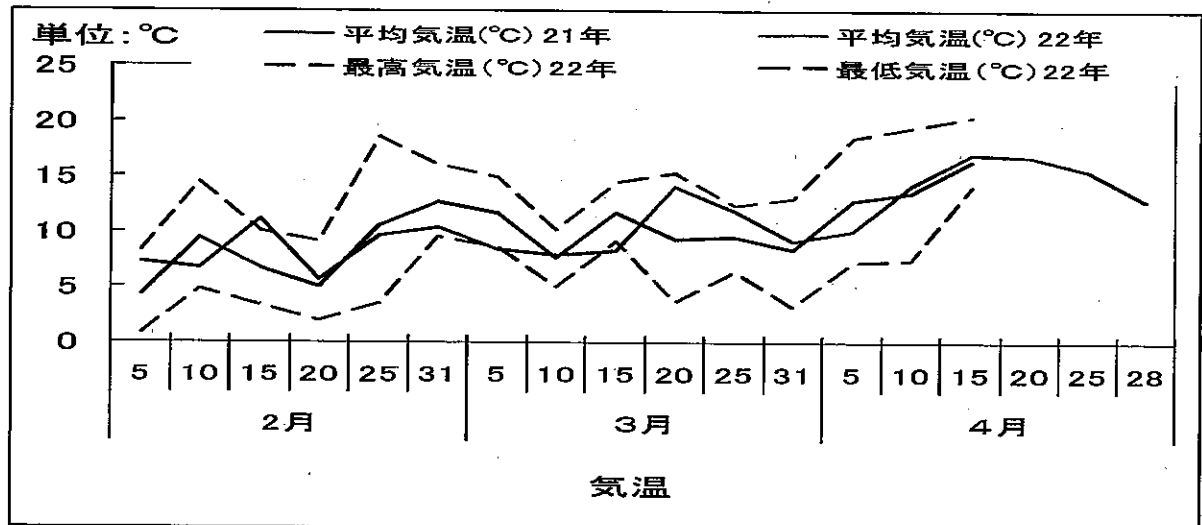
- 気温（2～4月上旬）は、対前年同期比 100%であった。
- 日照時間（2～4月上旬）は、対前年同期比 81%であった。
- 降水量（2～4月上旬）は、対前年同期比 123%であった。



資料: 農畜産業振興機構「ベジ探」、気象庁「AMeDAS」

6 佐賀県（白石） …たまねぎ

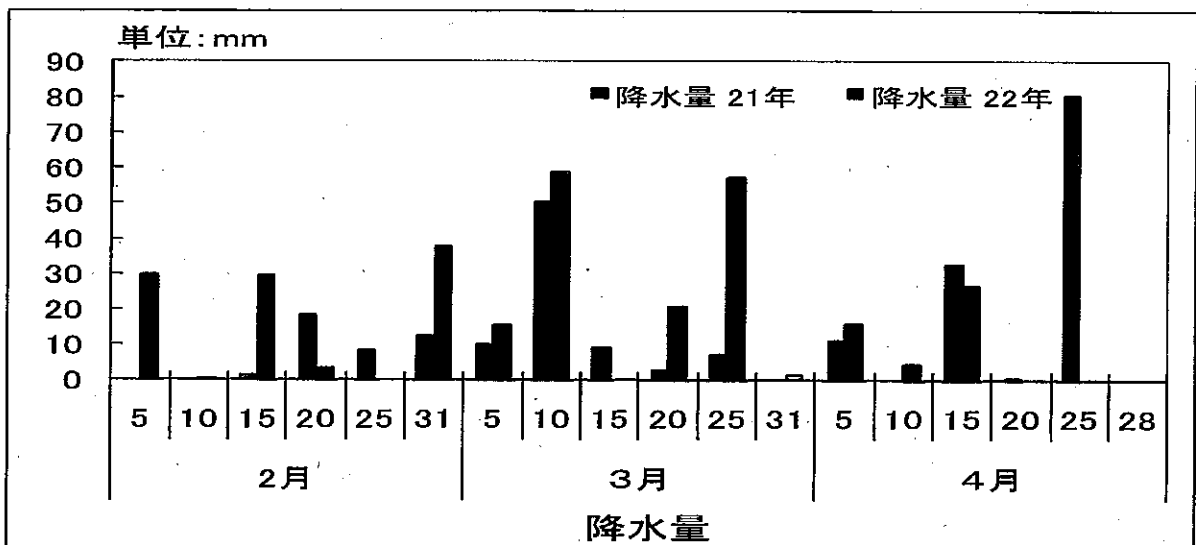
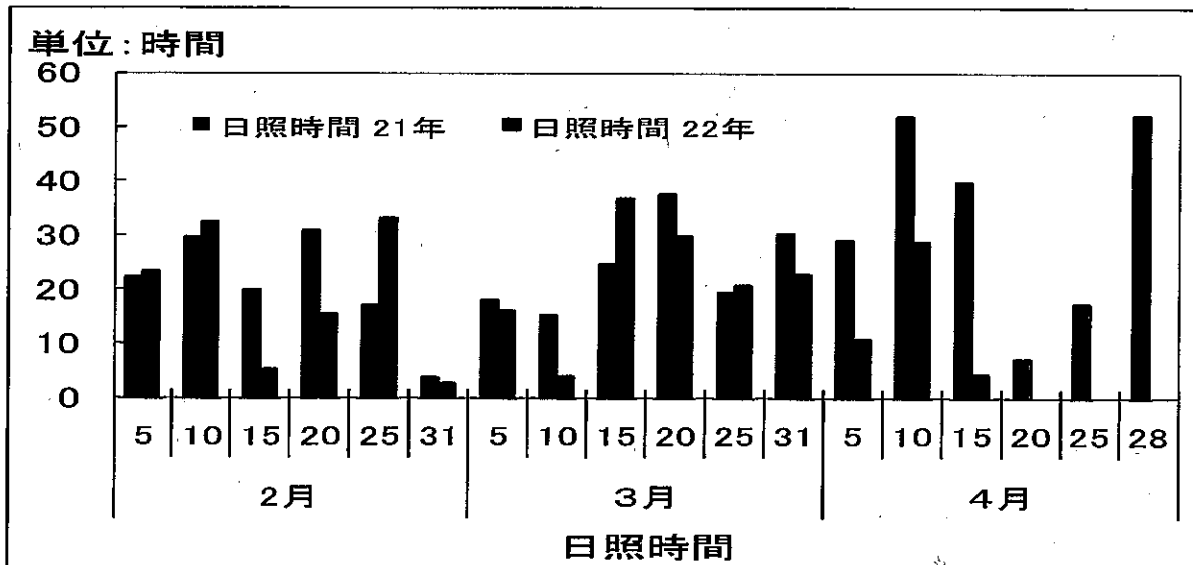
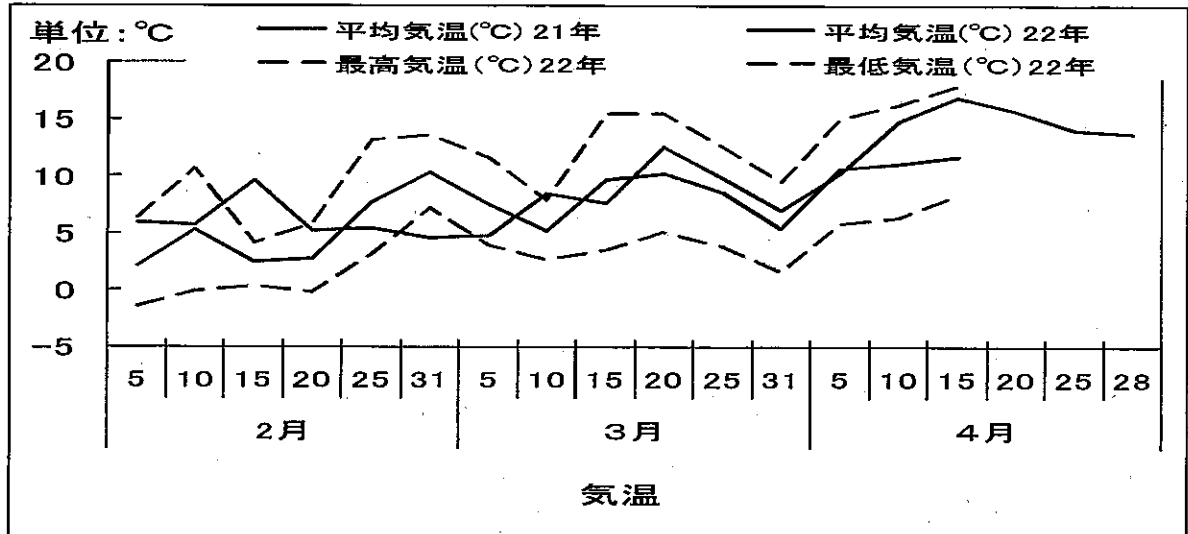
- 気温（2～4月上旬）は、対前年同期比 83%であった。
- 日照時間（2～4月上旬）は、対前年同期比 70%であった。
- 降水量（2～4月上旬）は、対前年同期比 117%であった。



資料: 農畜産業振興機構「ベジ探」、気象庁「AMeDAS」

7 東京（消費地）

- 気温（2～4月上旬）は、対前年同期比 88%であった。
- 日照時間（2～4月上旬）は、対前年同期比 74%であった。
- 降水量（2～4月上旬）は、対前年同期比 168%であった。



資料：農畜産業振興機構「ベジ探」、気象庁「AMeDAS」